

歌糸集落鳥獣被害対策研究会の取組(宮崎県延岡市北浦町歌糸集落)

- 平成27年度に集落環境点検を実施して被害情報をマップ化し、集落の住民と共有。害獣のエサ場や潜み場を除去
- 平成28年度に集落の女性を中心に「鳥獣被害対策研究会」を結成し、集落の将来のビジョンを話し合い、被害対策と野菜づくりを学ぶ展示圃「すずめの学校」を設置。また、展示圃で生産した野菜を直売所「すずめのお宿」で販売し、売り上げの一部を被害対策等の活動費用に充て、地域に還元
- 展示圃等で実践した被害対策が集落全体に広がり、水稻の被害面積は平成26年度の235アールから平成30年度には50アールと、8割減少

取組内容

- 基礎研修を行うことで被害対策への理解を深め、集落環境点検を行い、点検後は被害情報をマッピングにより可視化して共有
- 鳥害対策展示圃の設置や、集落環境点検の結果を基に、獣のエサ場と潜み場の除去、定期的なネット柵の点検及び管理等を実施
- 集落の将来を見据えたビジョンについて住民同士で話し合い、鳥獣被害対策や野菜づくりを学ぶための展示圃「すずめの学校」を設置。展示圃で栽培した野菜は、無人販売所「すずめのお宿」にて販売を開始



みんなで勉強



集落環境点検



集落内の潜み場(対策前)



対策後



展示圃「すずめの学校」



「電落くん」の設置



無人販売所「すずめのお宿」

成果

- 鳥獣被害対策が集落活動の一部として定着し、集落内のネット柵や電気柵などの維持管理が適切に行われることで、水稻被害面積が大幅に減少
- 直売所「すずめのお宿」は地元住民にも大変重宝されており、売り上げの一部を被害対策等の活動費に充てることで、活動の展開を図るとともに、会員のモチベーションを維持
- 今後は、歌糸集落の女性農業者を中心に鳥獣被害対策を継続していくとともに、6次化に向けた新たな取組を検討



＜歌糸集落の水稻被害面積の推移＞ 被害面積が8割減少

	H26年度	H30年度
鳥獣被害面積 (a)	234.9	49.3
被害面積H26対比 (%)	100.0	21.0
被害率 (%)	12.6	4.9
(参考)北浦町被害面積 (a)	297.3	149.6

データ: 延岡市・NOSAI宮崎北部センターより

歌系集落鳥獣被害対策研究会の取組(宮崎県延岡市北浦町歌系集落)

きっかけ・背景

- 農作物への鳥獣被害が拡大し、ネット柵を導入するも、平成26年度に北浦町全体の水稲作付面積の8割に被害(2.3ha)
- 宮崎県の鳥獣被害対策モデル集落に位置づけられたことを契機に、集落全体で対策を実施

課題

- 柵の周辺に草が繁茂している、ネット柵の押さえが甘い、動物に破られたまま放置しているなど、対策への理解が不十分

Step1 研修(H27)

- 被害対策への理解を深めるため基礎研修を実施
- 普及センター職員等と集落環境点検を行い、点検後は被害情報をマッピングにより可視化して集落の住民と共有

Step2 実施(H29)

- 鳥獣被害防止技術や野菜の栽培技術を学ぶために、展示圃「すずめの学校」を設置
- 点検の結果を基に、害獣のエサ場と潜み場を除去
- ネット柵の点検及び管理を強化

Step3 発展(H29)

- 女性農業者が研究会の中心となり、住民同士で話し合い、集落の将来ビジョンを策定
- 展示圃で栽培した野菜は、無人販売所「すずめのお宿」にて販売



みんなで勉強会



マッピング



ネット柵の点検・管理



歌系集落鳥獣被害対策研究会



無人販売所「すずめのお宿」



「電落くん」設置の様子



野菜の栽培講習会



栽培した野菜とともに

＜歌系集落の水稲被害面積の推移＞ 被害面積が8割減少

	H26年度	H30年度
鳥獣被害面積 (a)	234.9	49.3
被害面積H26対比 (%)	100.0	21.0
被害率 (%)	12.6	4.9
(参考)北浦町被害面積 (a)	297.3	149.6

データ:延岡市・NOSAI宮崎北部センターより

取組の特色

- 集落全体で活動を行っていくため、定期的な研修や集落環境点検を実施
- 女性農業者が研究会の中心になることで、集落の将来ビジョンについて、年齢や性別等の垣根なく話し合いが進み、鳥獣被害対策を核とした集落全体での活動に発展
- 集落一体となり、和気あいあいと活動を行うことによって、地域の活力維持にも繋がり、現在も楽しみながら活動を継続

取組による成果・効果

- 鳥獣被害対策が集落活動の一部として定着し、ネット柵や電気柵などの適切な維持管理により、水稲被害面積が大幅に減少
- 直売所「すずめのお宿」は地元住民にも大変重宝されており、売り上げの一部を被害対策等の活動費に充てることで、活動の展開を図るとともに、会員のモチベーションを維持

今後の取組

- 歌系集落の女性農業者を中心に鳥獣被害対策を継続していくとともに、6次化に向けた新たな取組を検討